

(様式 1-5)

小野町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 7 年 5 月 8 日時点

※本様式は 1-3, 1-4 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	小野町地域魅力発信事業	事業番号	A - 1
事業実施主体	小野町	総交付対象事業費	2,578 千円		
既配分額	1,487 千円	当該年度交付対象事業費	1,091 千円		
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業①情報					
①情報発信事業					
小計 1,091 千円					
i) 風評動向調査					
千円					
ii) 体験等企画実施					
1,091 千円					
iii) 情報発信コンテンツ作成					
千円					
iv) ポータルサイト構築					
千円					
②外部人材活用					
小計 千円					
i) 企画立案のための外部人材の活用					
千円					
ii) 地域の語り部の育成					
千円					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修					
千円					
風評の払拭に関する目標					
農畜産物販売・PR により、県産・町産物を選んでいただける関係人口を増やし、震災前の 7 ～ 8 割程度（観光施設別）となっている観光入込客数を震災前の水準に近づける（現状からの更なる向上）。 （「福島県観光客入込状況調査」での観光客入込客数（主要な観光施設の合計） 平成 22 年度 179,769 人⇒令和 5 年度 144,487 人⇒令和 6 年度 155,934 人。これを 160,000 人まで回復）					
事業概要					
事業実施主体	小野町				
主な企画内容	沖縄県石垣市で開催される石垣島まつりに出展し、町産農畜産物、特産品の販売、観光 PR を行う。				
主な事業の実施場所	沖縄県石垣市				
事業の実施期間	令和 3 年度～令和 7 年度 ※令和 4 年度～5 年度は中断				
企画内容					
【現状・課題】					
<現状>					
これまで風評払拭の取組として、町農畜産物の安心・安全を発信してきた。東京都での出展を中心に行い、徐々にファンやリピーターが増えている状況ではあるが、福島県産農林水産物の全国平均価格との乖離などが続いている。観光業に関しても県全体としては回復傾向にあるが、町としてはピーク時と比較すると回復には至っていない。					
風評被害は、県外の方々への情報発信が不十分で認識が不足していることが原因であると考えられる。					
<課題>					
国（復興庁）及び福島県が、風評払拭に向けて情報発信を実施してきたが、農作物の価格や観光入込数などは震災・原発事故前の状況までの回復には至っていない。					
風評払拭に向けては、これまで雑誌、テレビ、インターネット等のメディアを活用した情報発信及び販売促進イベント等の直接的な双方向コミュニケーションによる情報発信を行ってきたが、後者については首都圏を中心に行われてきた。					
町としても PR 出展やウェブサイト・SNS など、対面・非対面の両面から放射性物質等に関する正しい知識や農畜産物のおいしさといった魅力の発信を継続して行い、交流人口・関係人口の拡大につなげる必要がある。					

事業実施に当たっては、町単独では限界があるため、福島県等との連携により効果的な情報発信を行う必要がある。（例：沖縄県との交流拡大による定期便運行へ向けた取組など）

※石垣市と「特産品交流による地域づくり（産学官）協定」を締結している。（2019 年 2 月 22 日）

【課題に対するこれまでの取組と成果等】

<課題に対するこれまでの取組>

- ・震災以降から現在にかけ（コロナ禍を除く）、東京都・神奈川県等の首都圏へ、町単独（職員及び生産者等）で特産品の対面販売・PR（観光を含む）を行う出展をし、商品説明、農畜産物のモニタリング検査結果の説明をした上で販売することにより、農畜産物のおいしさだけでなく、安心・安全の発信をおこなった。
- ・ウェブサイトや SNS（町公式及び観光協会公式など）による観光情報の発信。
- ・令和 3 年度は関西圏の主要都市である大阪市内で開催された復興庁主催イベントへの出展により、農畜産物等 PR を行った。（※コロナ禍のため、町 PR パンフレット等の配置により対応。）
- ・令和 6 年度においては、石垣市で開催された石垣島まつりに出展し、現地及びイベント来場者へ町農畜産物販売、観光パンフレット・のぼり等による PR を実施した。

<これまでの取組における成果>

- ・対面での PR により、町内特産品のリピーターを獲得（特産品「黒にんにく」生産者からの聴き取り）。
- ・SNS 発信をきっかけに出展イベントにご来場いただき、対面での PR・販売につながった（会場で来場のきっかけを伺った際に聴き取り）。
- ・SNS 発信情報を基に特産品への問い合わせをいただき、購入につながる実績があった（役場への電話問い合わせを受け、販売者を紹介）。
- ・令和 6 年度の出展をきっかけに規模は大きくないが、小野町・石垣市相互にそれぞれの特産品等を仕入れる事業者等が現れ、イベント等での販売を行った。

<目標達成状況>

- 観光客入込客数は当初目標の 150,000 人を超えた。
- 令和 6 年度出展においては、小野町産農産物の販売を行い多くの方に購入をいただいた。
- 小野高校の生徒が育てた米の販売においては、現地 JA に協力をいただき、完売できた。また、今後の農畜産物の相互の販売に向けた足掛かりをつくることができた。
- 福島空港と沖縄を結ぶ定期航空路線の再開等に向けた官民連携組織「うつくしま・ちゅらしま交流・福島空港利用促進連絡会」に石垣市が参画し、空港利活用促進に向けても機運が高まった。

【今年度事業における具体的な取組内容】

沖縄県石垣市で開催される一大イベント「石垣島まつり」への出展

【目的】

- イベントに出展し、対面での町産農畜産物、特産品の販売・観光 PR を行い、福島県産農畜産物のおいしさを知っていただく。また正しい知識を発信することで福島県産農畜産物の安心・安全を PR する。
- イベントを通して町産農畜産物のファンを獲得し、それらをきっかけとして福島県・小野町に訪れただけの交流人口の拡大を図る。
- 福島県の取り組む「沖縄定期便運行」へとつながるよう小野町・福島県の魅力発信活動を行い、将来的に相乗効果が生まれるよう、可能な連携に取り組む。

【出展概要】

- 日時：令和 7 年 11 月
- 場所：沖縄県石垣市
- 情報発信：広報紙、ウェブサイト、SNS
- 概算費用：1,091 千円
- 事業内容
 - ・小野町産農畜産物、特産品、田村地域農産物等の販売を対面で行い、商品紹介や町の情報発信を対面で詳細に行うことで、来場者においしさ及び安心・安全を伝え、消費拡大や販路拡大につなげる。
 - ・夏井千本桜をはじめとする桜、高柴山のヤマツツジ、諏訪神社の翁スギ姫スギといった自然資源や東堂山満福寺、リカちゃんキャッスルといった文化的な観光資源について、観光パンフレットやポスター、のぼりを配置し、対面で詳細を伝えることで、地域の魅力を知ってもらい、観光で町を訪れてもらうきっかけを作り、交流人口の拡大を図る。

- ・地元の小野高校と石垣市の八重山農林高校の生徒が共同開発した「どら焼き」や町産酒米を使用したオリジナル日本酒をイベント時の試食や交流会で提供することにより、来場者及びイベント出展者などに食の面から福島県の魅力を伝える。
- ・小野町内において、民間主催の相互交流イベント（町と八重山地域（石垣市を中心とする）の農畜産物・特産品、芸能などを通じた交流イベント）が開催されるため、両市町の関係性をより強く PR し、相互の交流人口の拡大を図る。
- ・関係者が集う、交流会の際にも町産品を提供し、全国各地から集まる方々にも「福島県小野町」の PR を図る。

【今年度の新規性、前年度より向上させる部分】

- ・八重山農林高校の協力を得て、学校関係者や保護者の方々からイベントの事前告知をしていただき、効果的な集客を行う。また、生徒さんにはイベント会場にてお客さんの誘導や、同校と小野高校とで共同開発した「どら焼き」の紹介等のお手伝いをしていただく。
- ・イベント出展期間に現地 JA を訪問し、石垣市での当町農畜産物の取り扱い拡大に向け協議を行う。また、現地 JA の直売所への売り込みを行い、イベント期間以外にも小野町産品（日本酒「東堂山勝馬」、黒にんにく、燻製商品等）を手にとってもらう機会を設けられるように働きかける。
- ・「特産品交流による地域づくり（産学官）協定」を締結している石垣市の協力を得て、現地在住の福島県出身者にもイベント情報が届くようにご協力いただき、ゆかりのある方々を含めた多くの来場者確保を図る。

【今年度事業における目標】

<アウトプット>

○イベント来場者 13,700 人を目標とする。（令和 6 年 12,400 人）

<アウトカム>

- 出展の際、福島県小野町産の農産物・加工品を販売・PR し、福島県及び小野町の食に対する安心・安全、おいしさのといった良いイメージの定着。
- 市場で食品を中心に福島県産品を手にとってもらう機会を増やし、町産農畜産物（米、ニンニク）、特産品（黒にんにく、くんせいたまご、（小野高校と八重山農林高校の共同開発した）どら焼き「結」、（新）オリジナル日本酒「東堂山勝馬」）のリピーターの確保、農畜作物の価格の適正化、売上高の向上につなげる。
目標値 農業産出額 208 千万円から 0.5%以上向上させる。（市町村別農業産出額（2021 調査推計））

【今年度、事業の実施により得られる効果】

- イベントに出展し、町産農畜産物、特産品を通して福島県小野町を知っていただくことで、関係人口の増加が図られる。また、農畜産物のおいしさや安心・安全を伝えることで県全体の風評払拭につながる。
- 福島県との連携により、福島空港利用者の増加を含めた交流人口の増加が図られる。
- 食や祭り、風土など福島県とは異なり、特有で魅力的な文化がある石垣市で特産品等の出展を行うことで、新たな交流が生まれ、相互の文化を活かした新商品開発などが期待できる。
- 当該イベントに継続して出展をすることで、石垣市の方々と来場される沖縄県の方に小野町及び福島県の良いイメージ（おいしい農畜産物、食品の安心・安全、魅力ある観光・文化施設）を定着させ、本県・本町への交流人口の拡大を図る。
- 今年度、積極的な販売・PR を行い、次年度出展の際には取扱品の数量増をし、より多くブースへの来場を図る。それにより福島県・小野町の関係人口の増加、更には交流人口の増加につなげていく。